

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do） (5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課		経済観光課			
	政策分野	地域産業	課長名		高石 心平			
	施策	11 商工業の振興	重点施策の該当		R2	○	R3	○
施策の目的	対象	商工業者	意図	所得を増やす 経営力を向上する				

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標値
事業者の好景気感(%) (現状維持+良くなったと答えた割合)	38.0	46.0	43.0	42.0	32.0 (50.0)	51.0
第二次産業と第三次産業 の市町村内総生産額(百万円)	40,662	40,501	39,822	39,283	40,400 (40,924)	40,965

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
84.5	16.8	86.7	17.2	83.1	15.0	81.0	14.4		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
82.4	-18.3	85.4	-15.1	81.6	-20.7	76.9	-19.4		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度目標値
港町(商店街)の活性化	8-16 13-33	事業者の好景気感(%)	38.0	46.0	43.0	42.0	32.4 (50)	51.0
港町(商店街)の活性化		商店街の空き店舗率(%)	14.0	16.4	16.3	20.9	21.4 (13.1)	13.0
企業支援	2-4 5-9 5-10 8-20	企業活動支援数(件)	3	5	7	5	4 (4)	3
地場産品の振興	1-2 2-3	工業生産額(製造品出荷額 (飲料・食料))(百万円)	2,092	1,702	1,993	2,059	1,521 (2,176)	2,197
地場産品の振興	2-4 3-6	工業生産額(製造品出荷額 (飲料・食料以外))(百万円)	1,280	1,047	1,303	1,154	1,298 (1,280)	1,280

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・令和3年4月に報告された九州財務局による県内の経済情勢では、「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある」としている。また、判断の要点として、「個人消費においては、宿泊・観光面で厳しい状況が続いている一方、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、弱い動きが続いている」となっている。 ・本市においては、宿泊・観光業において、入込客数の減少による影響が長期に及んでいる。さらにイベントや催しの中止等も重なり飲食店や関連事業所等へも広がり、先行きの見えない厳しい状況となっている。このため、国の交付金等を活用した経済対策に取り組みながら、感染防止対策を強化しつつ、商工業者全体に対し切れ目なく総合的な支援を行ってきた。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・港町(商店街)の活性化については、「港町再生基本構想」に基づき、長年懸案となっていた商店街の一方通行化について、関係団体等の協力のもと11月に社会実験を実施した。新型コロナウイルスの影響で、制限された状況ではあったが、商工会と連携したイベントやアンケート調査も併せて実施することで、今後に向けた貴重なデータや経験が得られた。 ・企業支援については、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な対応として、国等の支援対象とならない事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を支援するために幅広く利用できる支援金を支給した。厳しい状況ながら、事業継続とともに、雇用維持確保にもつながり、一定の効果があつたものと考えた。 ・地場産品の振興については、新型コロナウイルス感染症の影響により島外でのイベント等が実施されず特産品の販路拡大を目指すための直接的な活動が制限される中、新たに首都圏の鉄道運営会社と連携した特産品等の情報発信に取り組んだ。また、販路先での特産品需要が落ち込む中、事業者対策として、島外在住向けに商品をPRするとともに特産品協会のECサイトの構築により、ネット需要を見込んだ環境整備を支援した。併せて、ふるさと納税の寄付増加により、返礼品を通じた地場産品振興の下支えを行うことができた。
現状・課題	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、市内の様々な事業者において経営的に厳しさが増しており、感染防止対策と両輪をなす経済対策をどのようにして効果的に実施していくか、また、事業継続と雇用維持確保に向けきめ細かな支援をしていくかが重要である。また、コロナ対策を優先しつつも、これまで取り組んできた港町再生事業等を商店街関係団体との連携のうえ如何に継続して具体化していくかが課題である。

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の実行へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等（他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入）
拡大・充実	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見据えながら、影響を大きく受けている中小企業等へ事業継続のための支援を行うとともに、内需拡大を促進するための消費喚起策等を行い、地域経済の回復に向け優先的に対策を講じていく。一方、重点施策として位置付ける港町（商店街）の活性化については、これまでの取り組みをさらに具体化するとともに、令和2年度で見直された耐震強化岸壁を含む西之表港の整備計画との関連から、基本構想の発展的な見直しも視野に検討する必要がある。

②-2 政策部会による振り返り（Check） （6月中旬に記入）

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等（将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など）
拡大・充実	【産業振興部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。